

敵線近く総雪崩

(東京八日) 七月夜海軍省管情報によれば、我が飛行機の偵察によるところ滿東方面の敵は五日我ガ陸軍の杭州河上陸以来全く混亂に陥つてゐるとの、如く殊に蘇州側南方地区の支那軍は六日未明橋方面支那人家屋は勿論、外人住宅、教会等を見境いなく掠奪破壊をしてゐる。支那軍の常習掠奪開始より見て上海附近の支那軍は近く全線被雪崩を起るとのと體測される。

(上海七日) 一日 部隊は六日午後六時黃浦江左岸へ北岸に退散互猛攻中で、これが我が蘇州軍は愈々完成されんとして支那軍は早くと混亂に陥り、江南の東北方面へその南方の

我軍の上海包圍態勢完成迫る
混亂支那軍常習の掠奪開始

西山の霸制の大業全

（大原城外八日一大原城を包围した我軍は雨三日城を勧告したが敵は應せざるため遂に八日午前七時半一齊攻撃の火薬を引いた時十三分早く之を薦部隊は東正面の城壁を占領、次いで大庭部隊は北側城壁を占領、各々城内に殺到、猛烈な突撃揚湯互開始する、長谷川快速部隊、小畠騎兵部隊は躍走する敵の退路を廻所すすべく大原西南方を迂回して急追中、而して突撃は八日朝東地上部隊にて陣、兵營、軍事施設城内等に猛爆撃を敢行した、天降八日と北支で最後に残された抗日の據安原は遂に陥落し、一部々隊は既に汾陽に辿りて山西制翻の大業は茲に全くたり、一方金支赤化のヨミンテルの野望に一大試験互加へたのだ、

北支最後の抗日櫻戻・太原陥落

全支赤化のソ聯の野望に一大鉄柵

の敵主力十万の襲滅
は全く時の回顧とあ
つた。

ラッセル会議に關する
米政府の訓令
米代表の動向を注目する

POLICLINICO DEL
DOCTOR
Cornejo Köster

AVENIDA DE MAYO 1334, 1º PISO D

治療卓効・費用低廉
コステル内外科医院

「病・梅毒・皮膚病
胃腸に臓・肺膿・腎膿
小兒科婦人科諸病
診療に應じます

勢対め 互す、 「策政日対の聯」

轉換期に逢着し
我が実力強大ト警

ソ連の対日政策

日本軍が銃を奪ひて一挙に極東赤軍に當ると猶ほ絆々たる余カ互示すので、極東赤軍首腦部間では日政策轉換し曰ソ間の空氣和を計るべしとの論が昂揚するゝ、あり、対支援所のソ聯が幹線に姿を現はさぬはソが対日利害互處の抑制してゐるためだと見られ、從來対撃戦の急先鋒であつたゴニ元帥とその抱憤せる意見と請に展開された実狀との觸板換みの苦境に立つて至り

國條文の確定議論

南京は空城と化す

方策会議の日本開拓團は、
帝国政府は参加拒絶の旨

前項の具体的な内容は未確定して居らす。プラツカル議の成行を待つて決定する向と云はれる。

請に對し
而有する少數
のみに極限して
那裏度に處する
和的解決を切望する趣旨
方に對する再訪請の趣旨が

口上書に記載されてゐるので、
帝国政府としては其方の態度
を兩度闇黙して參加拒絶の回
答を行ふに決定、九日の定例
閣議で廟議決定後、回答文書を
整備し、バッキンガムエル大使に手
交することにあつた。

我軍敵前上陸敢行

(東京六日)正午麾海軍兩省發表、我之陸軍の一部は海軍の密接且つ適切ある協力の下に五日未明浙江省杭州灣北岸に困難ある敵前上陸を敢行、大成功行ひ收めたり。

（東京七日）陸軍
（上海六日）藤井部隊は六日
省發表）五日未明
杭州湾北岸金山當
我軍損害は死傷者僅か十数名
立出です。

附近の高岸に上陸せる陸軍部隊は敵左擊破しつゝ、猛進、六家橋の敵陣に攻撃左開始、敵日夕早くより其の右一線を以て戦の後、同四時頃終に前進黄浦江岸に達し一部は既に北岸地を突破、續いて浦东橋の岸に進出せり、上陸当日の戦闘に於ける敵の遺棄屍体約一千、廬獲山砲立脚、其地苦戦の敵は全く虚左實右され、貴走内蔵蘇州河等一の要地となり、

正太・同南兩線方面より進撃し
我軍太原城を遂に包囲

(太原城外に二九日發) 同所旅方面左南下進、陣中の長谷川快速部隊は五日午後五時半太原城の北門に到達、愈々城内敵の撤蕩を開始する事とありて、斯くて太原城は既に全く我が手中に歸したと同然とありた。



国民政府の改造を
支那共産党提言

國家統動員去案

(東京六日) 政府は支那事变に鑑み来る通常国会に國

九ヶ国条約国会議 スパーク議長の 一史

ハラツセルカ日イ、英米佛三國代表は五日午後六時白可執外務省にスパーク瓶長左訪問對曰回答文案に対する各国が、の作成を3月25日付にて最終案の仕上げを行つた。而して回答文が、六日午前十一時から開かれる本会議の承認を得れば、スパーク瓶長のみ署名の上、日本政府へ送達される筈である。

英國朝野
會議の前途
極度に悲観

（倫敦九日）英國朝野は六ヶ国会談の前途に対し極度に悲観的で、各新聞も前途に何等光明なく、対日新通牒は單に説明を十日間延ばしのうのみだとし殊に官邸は米國が熱々あいことから寧ろ成行せの体だ。

軍民協力の下に近く
機械化兵器協会創立

校内に航空兵科の最
高教育部門を新設・
航空兵科将校に限り
改正して陸軍大学

机械化部队扩充

機械化部隊拡充 の一大推進力

国民政府の改造を
支那共産党は

二

三日国民党に対し、全民迫撃砲、抗日戰線左名に政府迫撃砲、国民党の改革不との自の重大提言を出した。右は政権奪取の一役階と見られ注目されてゐる。

（東京六日）政府は支那事变に鑑み、
来る通常議会に國
家總動員法案を提出するに决し企劃院に之が調査立案を命
じた。依つて企劃院では日下閣僚各所附
協議を経の近く成案を得る見込みである。

て今回軍
械化部隊拡充 の一大
進歩力
だらんが爲の軍民協力の下に
機械科兵器研究会を創立し、十
日午後交説社で創立委員会を
開催する運びとありた。委員

成化強線戰共防

待望の日独伊三國防共協定

六 羅馬に於て歴史的調印完了

（東京六日）帝国政府はコミニンテルンの赤化破壊工作防遏委員會に於て昨年十一月廿五日、曰無防共協定の調印を行つたが今回更に同一目標に於て伊太利國の本協定に参加するの機運熱し、曰独伊三国間に折衝を重ねた結果、白本國・伊太利國、及び獨乙國間に於ける議定書の假調印を見るに至つたので、広田外相は去月二日の閣議決定の後直ちに枢密院に御諮詢を請うて平穡モニ執り四日の枢密會委員会の議を通じて六日本会議で満場一致原案通り可決された、依て右曰独伊三国防共協定は同日曰木回午後七時（ロ一時半前十一時）伊太利外務省に於て我が枢密大使とナアノ伊太利外務大臣リーベン・トロッア西国駐英大使の間に丁寧的調印を完了した、かくて該協定は即日より効力が発生することゝ不つたので帝國政府は同日午後八時議定書の全文並びに外務当局談の形式を以て声明書三発表した。

（東京六日）大日本帝国政府、伊太利國政府及び獨乙國政府は共産イターナシヨナルが絶えず東西兩洋に於ける文明世界を危険に陥らしいれ、その平和及び秩序互撲亂し且破壊しつ、アスリューム平和及び秩序の維持を念とする一切の國家間に於て右危險を密接不る協力のみが右危險を減殺し且除去を得ることを確信シアシスト政治の創始以来不撲の決意を以て右危險と敵ひ共産インターナシヨナルの領土より驅逐したる伊太利國は共産インターナシヨナルに対し同様の防衛の意志を堅持する日本國及び獨乙國と共に右共國の敵に当ることに夫こざるに錦み一九三六年十二月廿五日柏林に於て日本國及び獨乙國間に締結せられたる共産インターナシヨナルに対する協定第二条の規定に從ふ左の通り協定せり、

第一条、伊太利國は一九三六年十一月廿五日、日本國及び獨乙國間に締結せられたる共産インターナシヨナルに対する協定及び附屬議定書に参加する右協定及び附屬議定書の本文は本議定書の附錄として貼付

議一定書

第二条、本議定書の三署名
は伊太利國が前条に掲げた

今日日本に依り結成され乍る
万防共戦策が伊太利の参に於
つて一層強化されるに至つた
ことは洵に心強いことであつた
が、世界の平和及び文化掩護の
ために衷心より慶賀すべきだ
本議定書の成立に依つて、自
然徳三國向の親善關係は益々
増進せらるゝこと、思はれ
苟く之が共産主義の點に於て
一致する限り有する諸國の本
取組み参加を希望する矣は今
後とも何ら変りはない

諸国の参加を希望

堀田正昭

前田条、本議定書は日本語及び英語にて作成せらるゝ。各本大臣は正文とす。本議定書は署名の日より實施せらるべし。

右協定及び附屬協定書の原稿書名と見做され、ことに同意する。本議定書署名は右協定及び附屬議定書の原本と署名に相当するものとする。

三國防共協定成立

佛蘭西政界に 多大の衝動を及へた

明治大本産の一

御聖徳を景仰奉る 明治神宮奉拝式

奉る都下男女中等学校職員生徒十方の明治神宮奉拝式は校父宮殿下の台席を仰ぎ、六日午前九時二十分より代々木原頭に於て若き血の慶祝式ニ而て嚴嵩に举行された。男女一万の学生は五集団に別れて整列、さしとの練兵場に埋めつくす、定刻東京府知事が内閣を宣し陸軍々樂隊の嚴か不

(柏林五日) ニトラー總統が日本
の報道に就き、獨之宮辺りに
かる華東は全然ないと否定

選擇、極々宮下、佐藤中佐
御先導にて御之間、畏く之
下には秋雨述る中に御外套
召されず御馬上城東之にて
三十分に亘つて親しく御
歎ばされ一同感激した、次
で介列行進に裕り着剣武装
武堂にて優しい制服の
女進行、豪華本絵巻を震園
終つて、万歳三唱、

ある。新協定は日本が支那からソ聯の勢力を駆逐する上に接けど不るのは勿論だが新協定の最重要性は獨伊両国三者ぶ最初の正文協定たる点にある。

ヒツトライ系統によ

東京市民の

レ少歩リ廻約之殿の

9 de Noviembre de 1937

El "Argentino Diario"

Año XIV No. 753 (6)

政治の今日

大統領決定宣言曰を前に 各政党対策を練る

大統領選挙人にによる
次期大統領選挙投票
は十月廿日施行され
コニカルダンシア派
イズは二百四十七名
ニカル党候補マル
セロアルベアルは百廿七名
それく獲得既にオルティ
スの次期大統領就任は既対確
定的とあつたが近く議会に
於て行はれる次期大統領決定
宣言の日前に共党野党各々
対策を練り協議を重ねてゐる
即ちラデカル党は此の日は對

すろに全議員中の半数を占め
てゐる同党議員の總出席を取
り以て大統領決定の宣言を無
効あらしむべしの態度を採
るに至つて居り之に対しコ
ニカルダンシア派は大統領決
定の宣言を有効ならしめる應
には如何なる手段をとるかも踏
躊躇せずこの強硬態度を持して
居り大統領決定宣言の議員
議会には是非とも議員总数の
三分之二以上を出席せしむる
べく同下コニカルダンシア派
が構成する諸政黨の領袖は個
々に協議中である

米洲國際司法裁判所 多分設置されん

(ワシントン五日) 汎米
議会理事会ハル国務
長官缺席のためエク
アドール大使アルフ
アロ氏議長として
開催されたが席上昨年武市は開催の未辦平和会議の委嘱によつて同協会が同下作成中である所の米洲國際司法裁判所設置案は今般大体成案を得たのでえと来年リマ市は開催の旨ハ回汎会議に提出審議するに決した理事会の意向にしては今回ハ成案は汎会議を何等支障なく通過の上米洲司法裁判所は此の案に基づいて必ず設置されるに至るるやとの確信を有してゐる

セントラル ゴルドバ 鉄道國營に関する サンタフエ市の要望

議は閣として
は既に会社
側と政府との間に賣收
交渉成立し
セントラルゴルドバ鉄道の國
政府は議会の協賛を経てこれ

本國營は裕すことはあつて居
り、過般の同鐵道從業員の罷
業は結局政府が現在に於ては
買收の決定的契約は未成立ぶ
るとして会社委託の形で同鐵

道を今後一年間經營し、其の
間一九三六年度と同等額の利
潤を会社に与へ從業員には他
の回鐵從業員と同様の待遇を
与すことを書類を手へたるを以
て漸やく解決を見たが、この

結果セントラルゴルドバ鐵道
の國營は愈々実現へと邁進す
る。

日本寫眞画報

(定期一冊)

現代古代日本五七百余の美麗な繪
画写真により紹介。英語の説明あり
第一卷より其巻迄新着。歐美の古
代近世美術を網羅せる豪華版

LIBRERIA

HUNGARA

de Alejandro Barna

LAVALLE 365

(U.T.31—4513)

日本寫眞画報
(定期一冊)
第一卷より其巻迄新着。歐美の古
代近世美術を網羅せる豪華版

結果セントラルゴルドバ鐵道
の國營は愈々実現へと邁進す
る。

昭和二十年九月一日

(7) 号三十五百七十九

故の國懐し

人情公使きの帰着

「日本人は勤勉で純情ぶよい國民」

モシテネグロ氏りわれ船上で語る

商船りおでじやねい
雨煙る八日午後零時
半ダルセナノルテに

入港したが、同船では人情公使として日本へ國民に親しみ深い駐日亞國代理公使であつたアルツーロ・モンテネグロ氏

が考心篤くハオル高齢の母堂の辛さひきあがら久々探

がり帰亞、亞國外務省役人を

始め近親の人々や日本人側からも懐しの故國に先一步立ち

三本商船支店長その貿易關係の邦人等多数の出迎人に迎へ

て船中には往訪の記者に語る。

「今こゝでは日支事變に因す

る事柄は語れ無い」と記者

と職車がらあがい話は甘く避けた後、「最近日亞貿易が非常に隆昌

にあつて東方半は較快に堪へ

あい、兩國間貿易は今後益々

進んでゐる可能性は充分あり

上り障害も近き将来に円満解決するらんと思はれる。そう云ふれば工業日本と原科國亞國はしっかりと手を握つて貿易隆盛を認識する時が来るだら

「日本に対する印象はよしも悪いもあい、私自身が日本が好き嫌いなどから、日本人は勤勉

で純情で大変よい國民である松は日本は私の家を有つてゐるから、来年の四月頃には又二くりおでじやねいろ丸で帰

き一光が来るべき同業者のか

き入時新作を祈りあがらアサードとセルベーザで午後三時半まで懇親会を歴し、後

や直に午十四定懇親会を開く

石川組合長開会の挨拶をあし

て石川浩氏正議長は推し、形

の如く会計の報告それ

あり一同異議なく承認、次いで議事に入り役員会提案として組合規約改正を中心とした大議案は正議長に提出され、可決、次に役員会第二提案として組合規約改正を中矢氏説明

本協会本部理事山里景度氏來亞議長は同氏正議長として座談会並に歓迎会を開催致しますから一般渠人

てその手口任
わろ件を中央
氏から説明
れも異議なく

組合規約改正小学校維持会議可決

蔬菜組合第十四定期總會

洗色店賣度し 盛業中

の右記
三軒の洗色店賣度し 家

價格安

リバタビア街 三〇〇ペソ
インデベンチニア街 五〇〇ペソ
カンカーナミ街 一八〇ペソ

卷細は Brangas
Calla Garela 341

赤誠憎しみなし

赤誠憎しみなし

赤誠憎しみなし

赤誠憎しみなし

赤誠憎しみなし

赤誠憎しみなし

赤誠憎しみなし

赤誠憎しみなし

北亞チヤコ同胞の献金

北亞チヤコ同胞の献金

北亞チヤコ同胞の献金

北亞チヤコ同胞の献金

北亞チヤコ同胞の献金

北亞チヤコ同胞の献金

北亞チヤコ同胞の献金

北亞チヤコ同胞の献金

日青軍強豪木力軍に快勝

日青軍強豪木力軍に快勝

日青軍強豪木力軍に快勝

日青軍強豪木力軍に快勝

日青軍強豪木力軍に快勝

日青軍強豪木力軍に快勝

日青軍強豪木力軍に快勝

日青軍強豪木力軍に快勝

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

福岡豊吉氏に決定

福岡豊吉氏に決定

福岡豊吉氏に決定

福岡豊吉氏に決定

福岡豊吉氏に決定

福岡豊吉氏に決定

福岡豊吉氏に決定

福岡豊吉氏に決定

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

寺嶋領事の後任

御案内

御案内

御案内

御案内

御案内

御案内

御案内

御案内

各 位

各 位

各 位

各 位

各 位

各 位

各 位

各 位

沖縄海外協会

沖縄海外協会

沖縄海外協会

沖縄海外協会

沖縄海外協会

沖縄海外協会

沖縄海外協会

沖縄海外協会

亞國支部

亞國支部

亞國支部

亞國支部

亞國支部

亞國支部

亞國支部

亞國支部

正式任命

正式任命

正式任命

正式任命

正式任命

正式任命

正式任命

正式任命

事務

事務

事務

事務

事務

事務

事務

事務

正式任命

正式任命

正式任命

正式任命

正式任命

正式任命

正式任命

正式任命

